

Mランドささ山校 ニュース Vol. 28

平成21年1月1日発行 篠山自動車教習所 兵庫県篠山市池上569 TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940
発行責任者 豊田文雄 HP <http://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

「幽玄の光」ホタル観賞

■梅雨に入つて集中的に強い雨が降るかと思うと真夏の猛暑のように気温がグングン上がつたりの天候が続いています。今年は結構長い期間でホタル観賞が楽しめました。

卒業を明日に控えたホーム生にとっては今夜が最後の篠山の夜となります。思い出にホタルを観に行こうとお誘いました。

まだホタルを観たことがない参加者もあつて、一匹でも観ていただけたらと祈る思いで出発しました。

まだ薄明るいホタルの名所篠山市曾地の川端に到着。

『あくやっぽりいない』と思つたら『おー！おつた！おつた！』暗くなるにつれ次第に数も増え、数百とまではいかないまでも視界には二十数匹でしょうが、この寒さの中私たちを歓迎するかの様に夜空を舞つてくれました。

少ないホタルの光だけに一つ一つの光がとても貴重に感じられました。『ホタルによって光り方が違いますねえ』。おお！鋭い！ホタルにも個性があるんでしようね。毎年観ていると気がつきませんで



地元の方が親切に解説してくれました

二回めの観賞会には無数のホタルが…まさに乱舞とはこういう様でしょ。これほどの光景にはもう感動としか言いようがないほど。初めて観る方には本当に忘れられない思い出になつたと思します。

(井本徹)

ホタルは写りませんが記念写真をパチリ！

した。何事も視点を変える目を持たなくては…ゲストとホタルに教えていただきました。

山間の真っ暗な川辺をいつもど違った時間が流れていきました。

山間の真っ暗な川辺をいつもど違った時間が流れていきました。

「Mランドまつり」に参加して

今年で二十六回めを迎えるこの伝統のイベントは、Mランドの「楽美愛真」を象徴するものです。が、多くの人を巻き込んだビッグイベントで、一企業がここまで：と思ふほどの規模と内容、その意味合いはたくさんのが込められております。

まず、企画、製作、運営等はすべて手作りで地域への貢献と社員研修の一環で行なわれます。全員が目標に向かつて一致団結し、お互いを思い、まつりへの思いを積み重ねることで全員にこの上ない達成感を与えてくれます。

ゲストの方々にどうして同窓会の場所ともなるようなふるさとのことです。Mランドのルールは一つ、それは「あいさつ」です。あいさつがたくさんの人と仲間にない第一歩になります。一步勇気がもって声をかけることで心が広くなり、いつも笑顔と感謝の

スを見せていましたが、実はその人々は益田校を卒業されたゲスト(教習生)と聞かされ、これにも驚きました。

私は、今回のこととはあらたに満ち溢れていました。仲間や周囲に与えてもらっている元気の源は計り知れず、何よりも前を向く姿勢を学ばせていただきました。

また、取り組みに対する思いと言葉が物事を創ることも教わりました。大きな希望と成功する思いを持って取り組むことです。

最後に、感謝の気持ちを持つことです。Mランドのルールは一つ、それは「あいさつ」です。あいさつがたくさんの人と仲間にない第一歩になります。一步勇気がもって声をかけることで心が広くなり、いつも笑顔と感謝の

メイトを訪れるためにこのまつりに集まります。舞台ではプロのミニージシャンや俳優がパフォーマンスを披露され大変な盛り上がりを見せていましたが、実はその人々は益田校を卒業されたゲスト(教習生)と聞かされ、これにも驚きました。

私は、今回のこととはあらたに満ち溢れていました。仲間や周囲に与えてもらっている元気の源は計り知れず、何よりも前を向く姿勢を学ばせていただきました。

また、取り組みに対する思いと言葉が物事を創ることも教わりました。大きな希望と成功する思いを持って取り組むことです。

最後に、感謝の気持ちを持つことです。Mランドのルールは一つ、それは「あいさつ」です。あいさつがたくさんの人と仲間にない第一歩になります。一步勇気がもって声をかけることで心が広くなり、いつも笑顔と感謝の

心通い合う「Mランドまつり」での貴重な経験を通して、大きく成長できたように思います。たくさんの感動と興奮を与えてくれました。ゲストの皆様、益田校スタッフ、そして参加の機会をいたしました。ささ山校のみんなに感謝し、お礼申し上げます。本当にありがとうございました。

(藤本和万)

心通い合う「Mランドまつり」での貴重な経験を通して、大きく成長できたように思います。たくさんの感動と興奮を与えてくれました。ゲストの皆様、益田校スタッフ、そして参加の機会をいたしました。ささ山校のみんなに感謝し、お礼申し上げます。本当にありがとうございました。



メインステージでは子どもたちのパフォーマンス



テーマパークのような益田校全景

楽しい人生を目指して！
良書は心の栄養



■過去を振り返り、教訓を見出すことは大切です。また未来のことを考え、準備するのも大事なことです。でも私たちは今、現在に生きているのです。今、目の前の問題解決のための方法や新たなひらめきは、いろいろな体験から出てくるものが多く、その一つに読書があると言われます。

一般的に良書とは、バイブルを代表として人々によって読まれ続けてきたものを言いますが、今すぐの効用を求めての読書だけでなく、脳に蓄積されていく、まるで栄養源のような読書もあります。

「立つ。気持ちが落ち着く。など、いろいろな感情から見出することは大切です。また時間がたつのを忘れた」等々、こんな本との出会いは最高に嬉しいものです。

よい本を読み
よい本によって
おのれを作れ
心に美しい
火を燃やし
人生は尊かったと
呼ばしめよ

坂村真民

Mランド「コンスタンツェ」の設計に携わって ④

建築家 材本謙二

前回「篠山の紹介とふれあい」ということで、皮切りに弊社やくらの紹介をしました。今回は、篠山が抱える問題（実は全国の地方は同じ悩みを抱えている）である少子高齢化と都市部流出による人口減によって招いた空き家対策を中心に、篠山で実施されているまちづくりの一部を紹介します。

篠山市とお隣の丹波市を活動エリアとして、丹波に住む人々が丹波を創り、丹波にとって良いことは何でもしようという理念のもとで発足したNPO「たんばぐみ」は、多くの事業を展開していますが、中でも「市民ファンド」とボランティアによる古民家再生事業」は目玉事業となっています。事業を簡単にご紹介すると、まちなみを形成している立派な古民家が、空き家になると突然解体され、修景を無視した家が建ったり駐車場になつたりします。それを防ぐために文庫ネットワークの会

ためには公的資金で保存する方法もありますが、タイミングがずれ自由度がなくなります。そこで民間資金のみで保存活用できないかということで編み出したのがこの事業です。多くの市民から出資してもらい古民家を買って、ボランティアの協力を得て安く修理し、主旨に賛同する方に売って活用してもらう。また、売却によって収益がでれば次の古民家を買うための原資とする、というものです。活動は丸四年を迎えました。年



「良くしよう」と活動される人からは明るさと元気が感じられます

ます。

◆才本謙二氏紹介◆

建築家 一九五六年京都府亀岡市生まれ 兵庫県篠山市育ち 篠山鳳鳴高校・関西大学卒 (有)才本建築事務所代表取締役

◆才本謙二氏紹介◆

建築家 一九五六年京都府亀岡市生まれ 兵庫県篠山市育ち 篠山鳳鳴高校・関西大学卒 (有)才本建築事務所代表取締役

忙しくて本を読む時間などないと言っていたような私ですが、忙しいからこそ本を読むべきなんだと最近は思うようになりました。

本との出会い、それは人との出会い、物事との出会いと同じように実におもしろいめぐり合わせがあるようですね。（文）

編集後記

■このたびの『變(やわらぎ)文庫』創設にあたり、株式会社タニサケの松岡浩会長にはアドバイスをいただきました。ありがとうございました。